

## 第3回 SSH 講演会

昨年度まで行われていた土曜ALに代わり、今年度から SSH 講演会を行うことになり、第3回目を11月15日(金)に実施しました。生徒の主体的な学習を支援する取組ですが、今回は生徒の探究的な学びや進路選択の一助となるような7つの講演を企画しました。今号では、その様子や受講した生徒の感想を紹介します。

## ① 講演名：「外科医の仕事」

講師：恩賜財団群馬県済生会病院  
院長 細内 康男 様

## ② 講演名：「磁性材料が切り拓く新たな世界」

講師：東北大学工学部電気情報理工学科  
准教授 小川 智之 様



講演①の様子



講演②の様子

③ 講演名：「前橋の街の未来は自分たちで  
つくろう 建築からまちづくりへ」

講師：株式会社 石井設計  
代表取締役社長 石井 繁紀 様

④ 講演名：「高校在学中の海外留学(短期・長期)・  
海外大学進学を考えている生徒へ向けて」

講師：ベネッセコーポレーション



講演③の様子



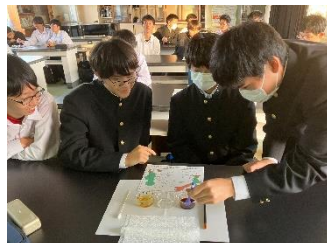
講演④の様子

## ⑤ 講演名：「材料・化学研究者の科学講座」

講師：産業技術総合研究所  
触媒化学融合研究センター  
固体触媒チーム主任研究員  
藤田 賢一 様

## ⑥ 講演名：「感覚機能を知って感じて考えよう」

講師：生理学研究所 感覚生理解析室  
准教授 曾我部 隆彰 様



講演⑤の様子



講演⑥の様子

## ⑦ キャリアメディカル

講演名：「群馬大学医学部医学科について知る」

講師：群馬大学医学部3年生3名  
前高卒群大医学部生との懇談会の様子



## 生徒の感想

- ・手術の技術が向上してきている一方、外科医が不足しているという現状について考えさせられた。
- ・原子一つでも磁力を持っているということには驚いた。この世界と磁力は切っても切り離せない関係なのだと感じた。
- ・今回の講演を通して、自分の所属している歴史や観光の分野の探究の内容と非常にマッチしていて、より多角的な視点を持って探究に取り組めると感じました。
- ・漠然としていた留学への憧れや期待が、実際にやってみようという行動意欲に変えることができたと思いました。自分がどう貢献できるのかという受動的ではない視点が非常に大切だとわかりました。
- ・実験を通して化学の面白さを再認識できましたし、研究者になりたいという思いも一層強くなりました。研究の世界でも様々な場所で様々な職種(長所)をもつ人が活躍していると知り、自分の好きなこと、得意なことはもっと伸ばしていきたいと思いました。
- ・感覚という日常的に感じているものが化学的に説明できるのがとても面白かった。
- ・忙しい中でもスキマ時間を活用して勉強量を確保することと、部活や行事にも全力で取り組む重要性を学べた。